

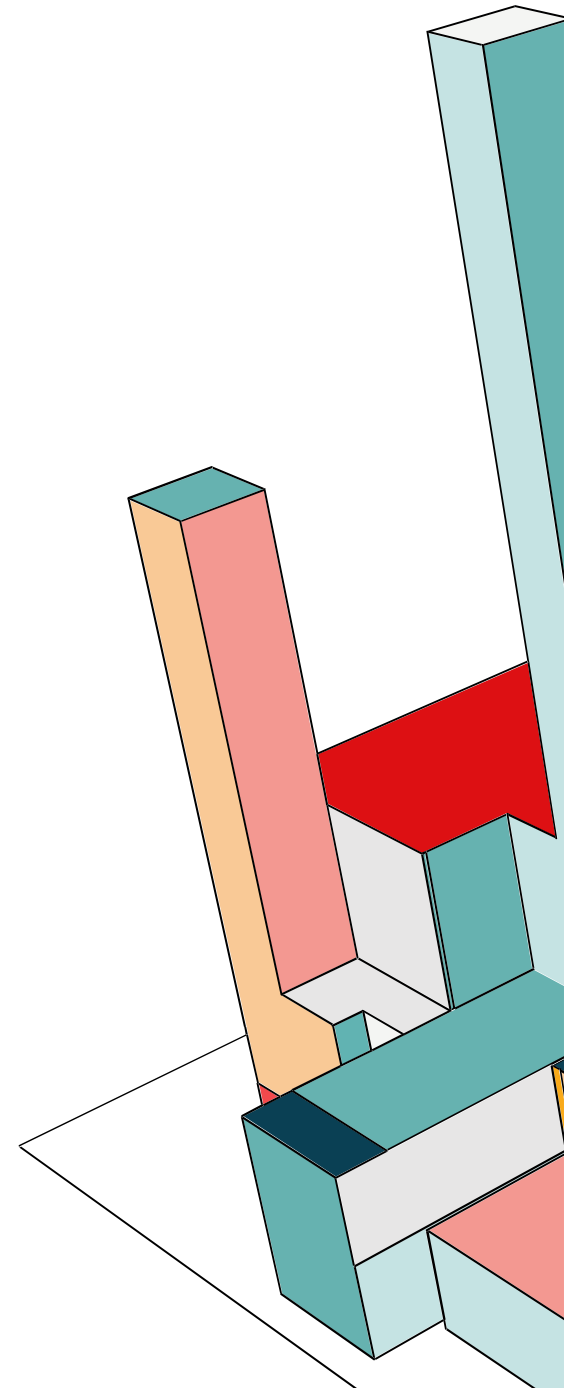
「対話を通じたカレッジキャピタル醸成のための  
「哲学カフェ」に関するメソッドを学ぶ」

発表者：長井遥斗

発表日：2026年3月12日

# アウトライン

- 哲学カフェとは
- プロジェクトの概要
- 学んだ内容
- 実践
- 今後に向けて
- かかった費用



# 哲学カフェとは？

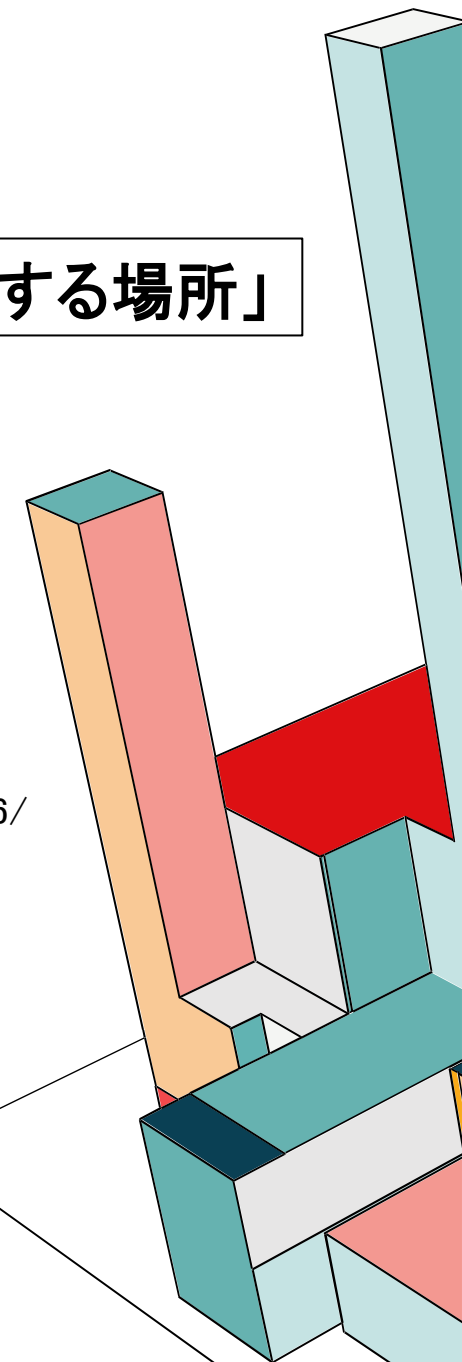
「身近な1つのテーマに沿って、進行役と参加者が飲み物などを片手に対話する場所」



<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1245936/>

哲学カフェにおいて重要なことは

**立場や考え方の前提が異なる人たちが  
知識の伝達や合意形成を目指すのではなく  
「分かり合えなさ」を前提に対話を使って歩みよること**



# 発表者らの活動と課題

毎週1回 NIFSギャラリーで 哲学カフェを開催



哲学カフェの開催に関するノウハウが不足



哲学カフェに関するメソッドを学ぶことで  
より充実した活動が実施できるのでは？

café  
knock



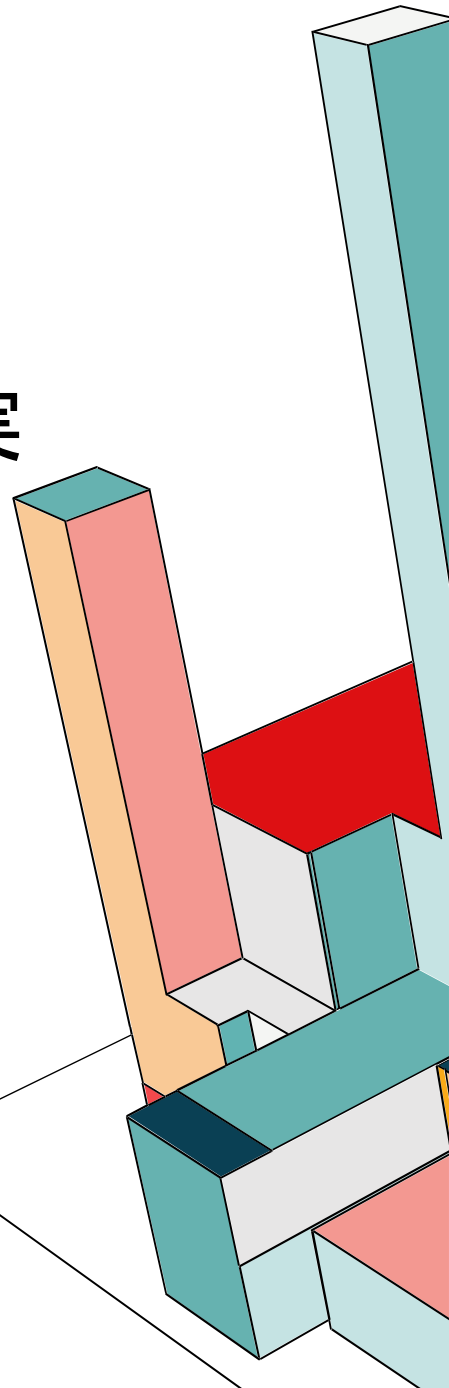
# プロジェクトの目的と達成方法

## 本プロジェクトの目的

発表者らが実施している「哲学カフェ」のさらなる充実のために、そのノウハウを学ぶこと

具体的には…

哲学カフェ開催における先駆的な団体である「カフェフィロ」主催イベントへ足を運び、実体験を通して学びを深めること



# 訪問先と活動内容など



- ・フランス発の「哲学カフェ」を日本で初めて試みた団体
- ・大阪大学臨床哲学研究室のメンバーが設立

8月31日 びわこ哲学カフェ  
@大津市民会館

## 体験した内容

発表者は、当日の準備・片付けをお手伝いした。また、参加者として対話にも参加



びわこ哲学カフェ

11月16日 カフェフィロ20周年の集い  
@大阪府 應典院

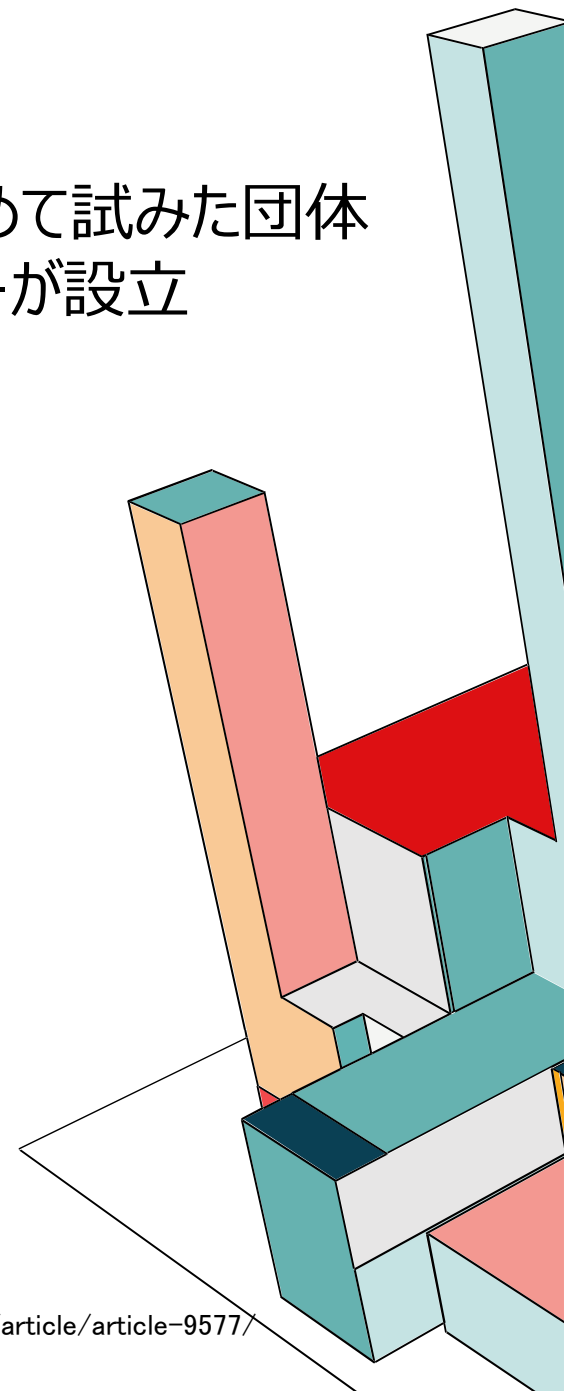
## 体験した内容

発表者は、当日の準備・片付けをお手伝いした。また、参加者として行われたシンポジウムへ参加、また対話にも参加



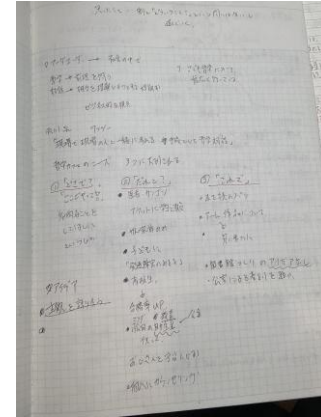
應典院

<https://www.outenin.com/article/article-9577/>



# 学んだ内容

それぞれの訪問では、訪問中にノートやメモ帳などに逐一思ったことや考えたことを記入する形で記録，その後記述内容を以下の項目で整理



対話そのものに関すること

Ex 進行法, 発言法 など

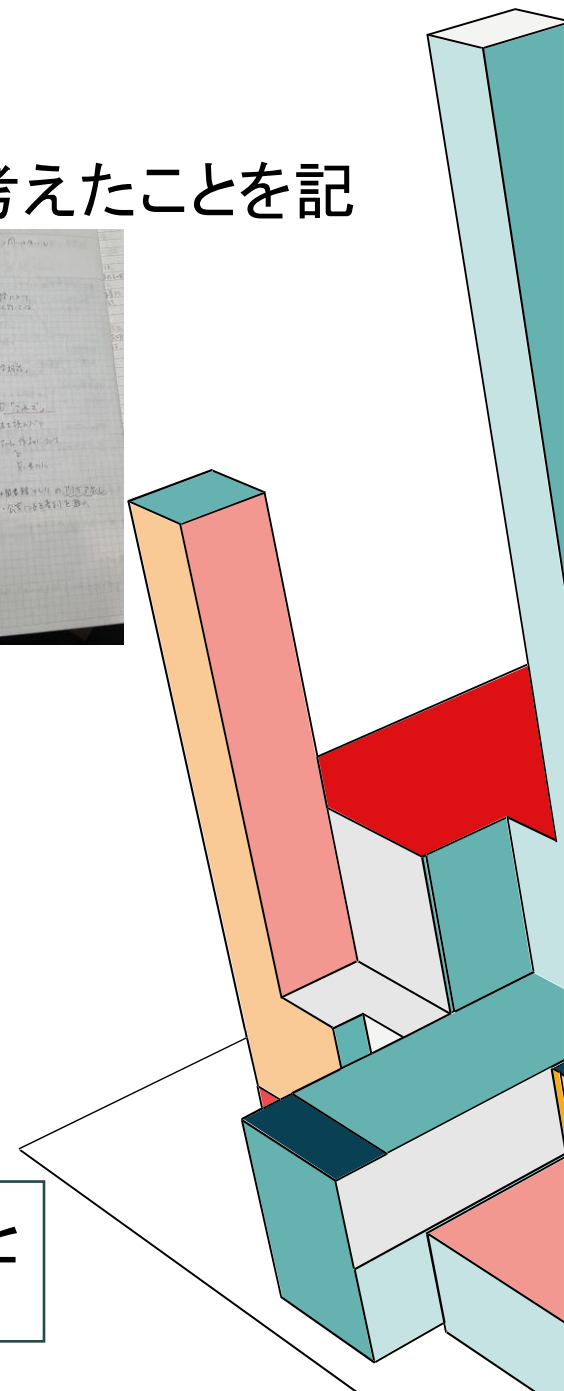
対話以外に関連すること

Ex 開催場所, 参加者 など

哲学カフェのコンセプトや考え方に関すること

Ex そもそも哲学カフェとは？ なぜ対話が必要か？ など

「哲学カフェ」に関する学び



# びわこ哲学カフェ

# 学んだ内容

8月31日 びわこ哲学カフェ @大津市民会館



## 対話そのものに関すること

Ex 進行法, 発言法 など

- ・全員に発言を促すような声かけを行うよりもむしろ発言したそうな人を見つけてその人に話してもらおう交通整理役としての進行役
- ・肯定的な声かけて見守ることも進行役の役割

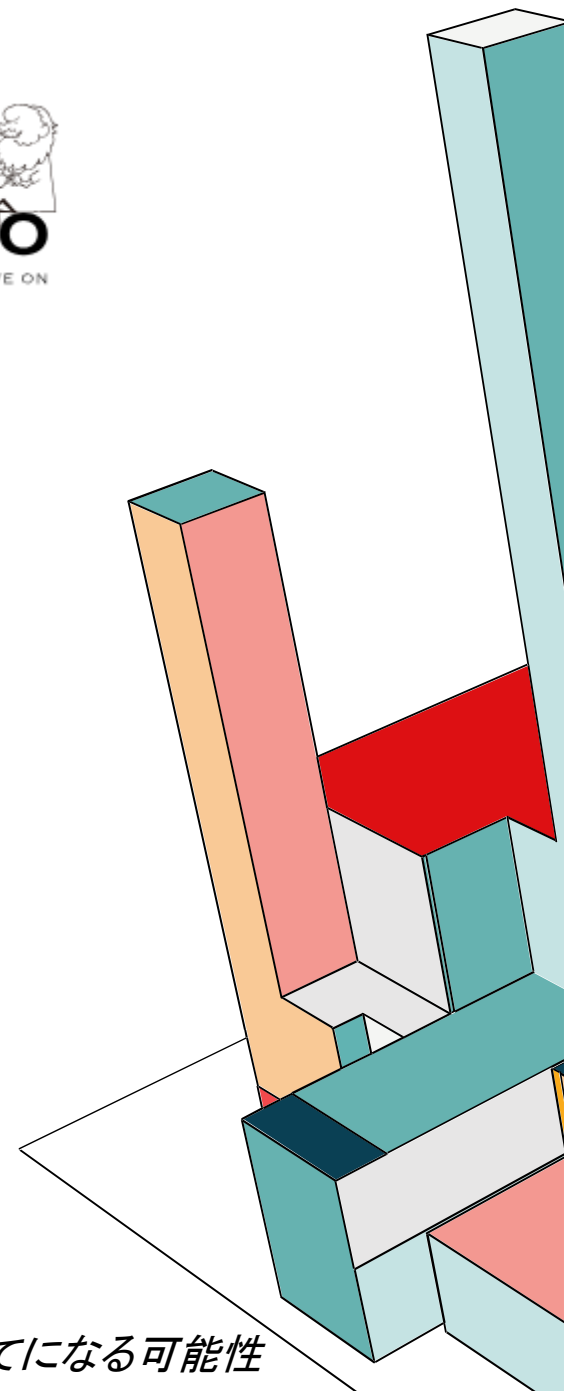
—————→ 参加者の意欲などによって変化させる必要あり?

## 対話以外に関連すること

Ex 開催場所, 参加者 など

- ・開始前の簡単なルール説明は丁寧にゆっくり行うとよい。  
(スケッチブックをつかった手書きの説明はわかりやすかった)
- ・全体で進行する時間とパートで進む時間を作り, より発言頻度を増やす

—————→ 発表者らの活動でも, 参加者が増えれば有効な手立てになる可能性



# 学んだ内容

8月31日 びわこ哲学カフェ @大津市民会館



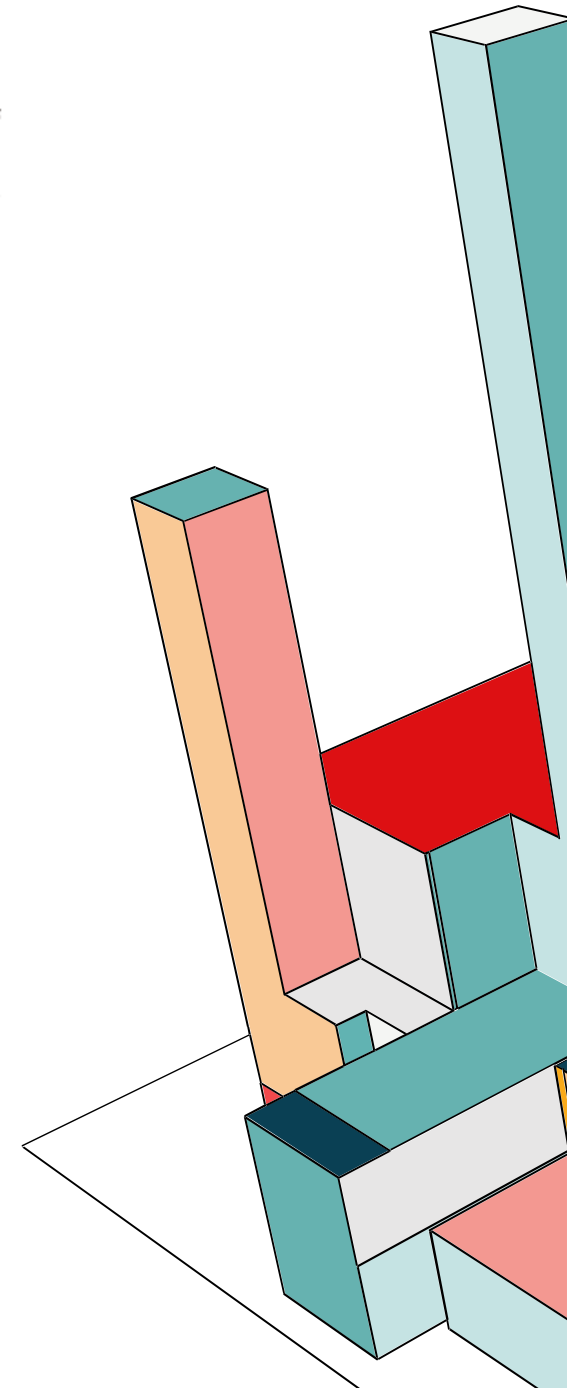
哲学カフェの**コンセプト**や**考え方**に関すること  
Ex そもそも哲学カフェとは？ なぜ対話が必要か？ など

- ・形而上のことではなく、日常の体験に即したことを話す場であることが重要
- ・「哲学カフェ」に参加して、他人の考えに耳を傾けることは考える材料を得ることである。

→ 自分一人で考えるにも考える材料は必要不可欠



主催者が用意したお菓子とカンパ箱



# カフェフィロ20周年の集い



20年間の歩みの展示



「こどもの哲学対話」体験



会場 大阪市にある應典院

# 学んだ内容

カフェフィロ20周年の集い @ 應大院

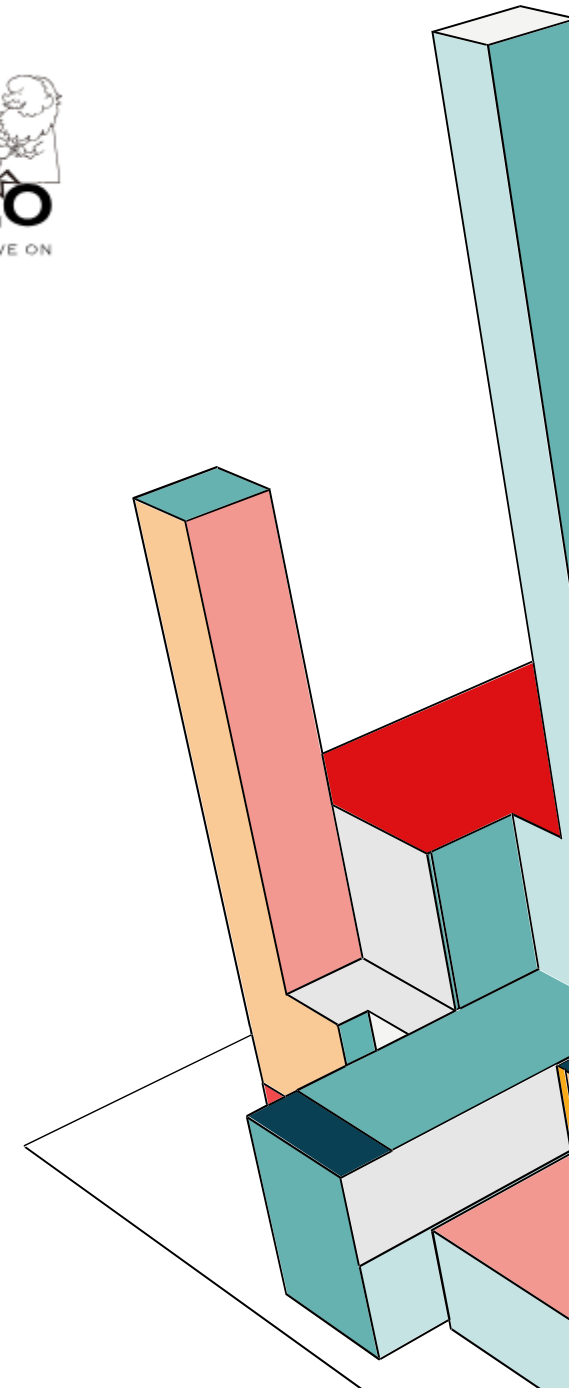


## 対話そのものに関すること

Ex 進行法, 発言法 など

- ・テーマに関する問いを立てる際は、「この問いで問題ないですか？」  
ゆっくり進めることを心掛けること
- ・あえて進行役が話に入っていくことで、空気を和ませることもできること
- ・P4Cといった、形式が決まった形の対話では、何をかんがえようかと迷うことなく、参加者は考えることに集中できること。

→ 対話が始まると多数決を多用し意思決定してくるのは  
分かりやすいルールであると感じた。



# 学んだ内容

カフェフィロ20周年の集い @ 應大院



対話以外に関連すること

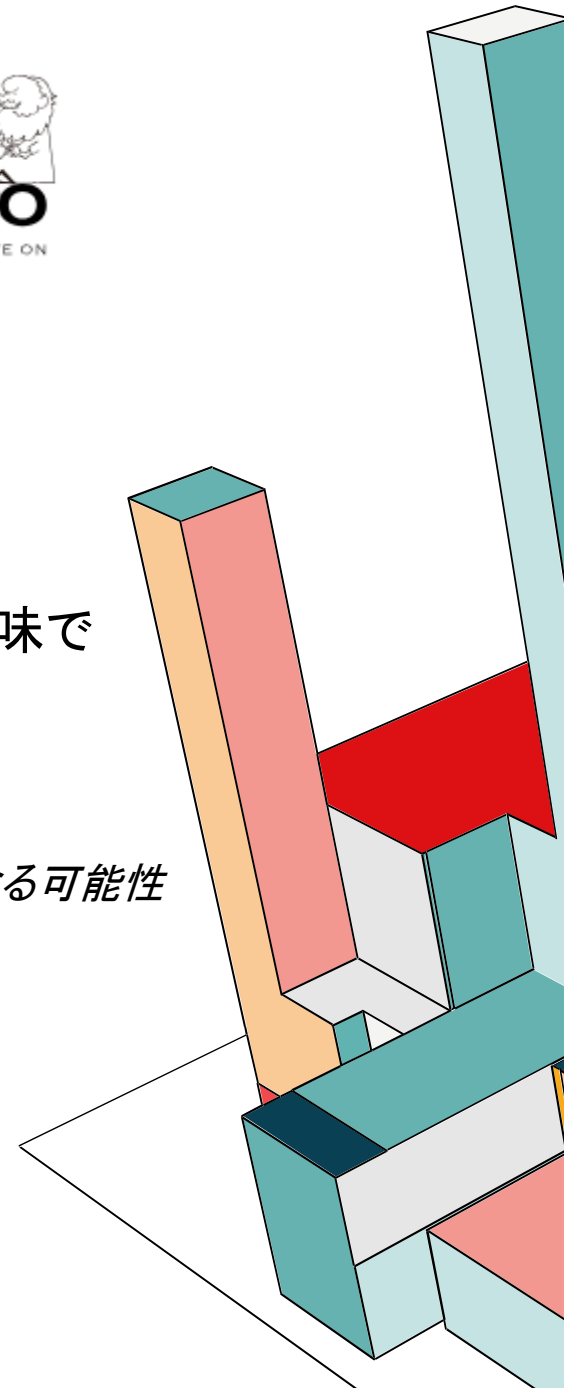
Ex 開催場所, 参加者 など

- ・できるだけ小さく円形で椅子を配置することが参加者間心理的な距離を小さくする意味で重要であること.

- ・全体で進行する時間とパートで進む時間を作り, より発言頻度を増やすこと

→ 発表者らの活動でも, 参加者が増えれば有効な手立てになる可能性

- ・問いを決定するまでの段階では黒板を使って, 視覚的に意見を対比させることが参加者が理解して進行するうえで重要であること



# 学んだ内容

カフェフィロ20周年の集い @ 應大院



哲学カフェの**コンセプト**や**考え方**に関すること  
Ex そもそも哲学カフェとは？ なぜ対話が必要か？ など

## ・3つの哲学カフェのニーズを理解する

①どこで？ ここでやって！、知的なことをしてほしいです

②だれと？ 高校生同士で がん患者の家族のみで 医師と看護師で

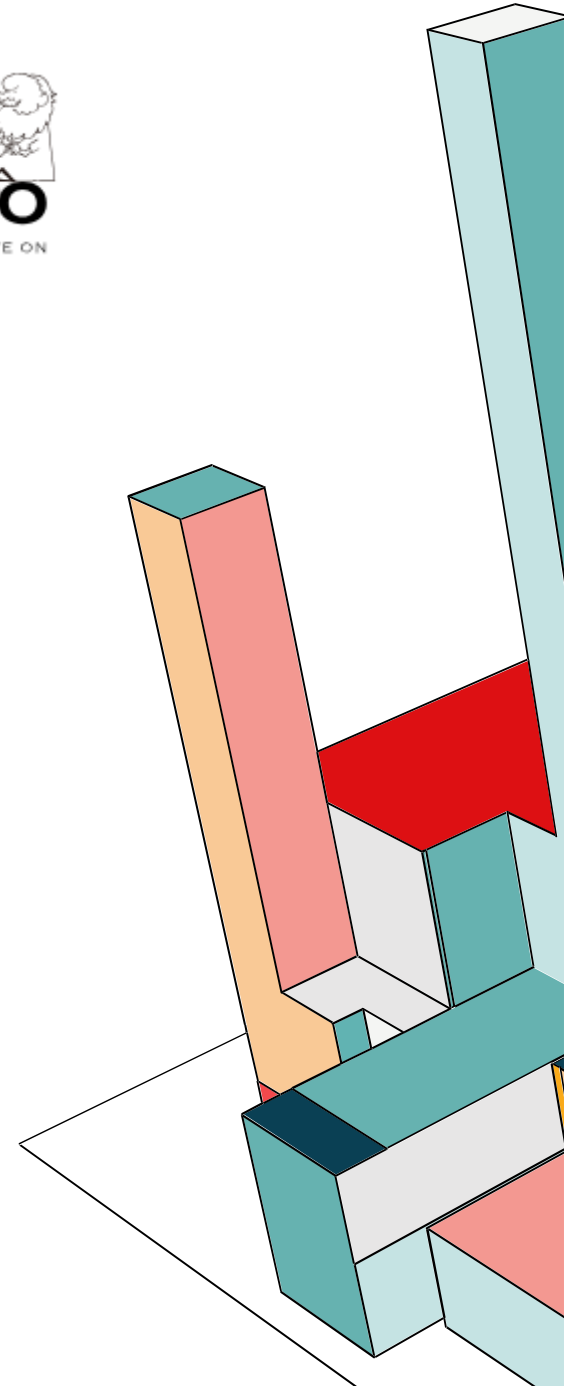
③これで アート作品を見に来たひとが作品について、公害による差別を題に

・哲学カフェは場として機能すること

・哲学カフェ(対話)は「人と人が出会う場所」であり、「言葉を失う場所」すなわち言葉が通じない場所であること。



立場や考えが異なる人に対して、自分のあたり前や言葉づかいが通用しないという意味。



# 哲学カフェの参加者へのインタビュー(余談)

びわこ哲学カフェ @大津市民会館  
カフェフィロ20周年の集い @應典院



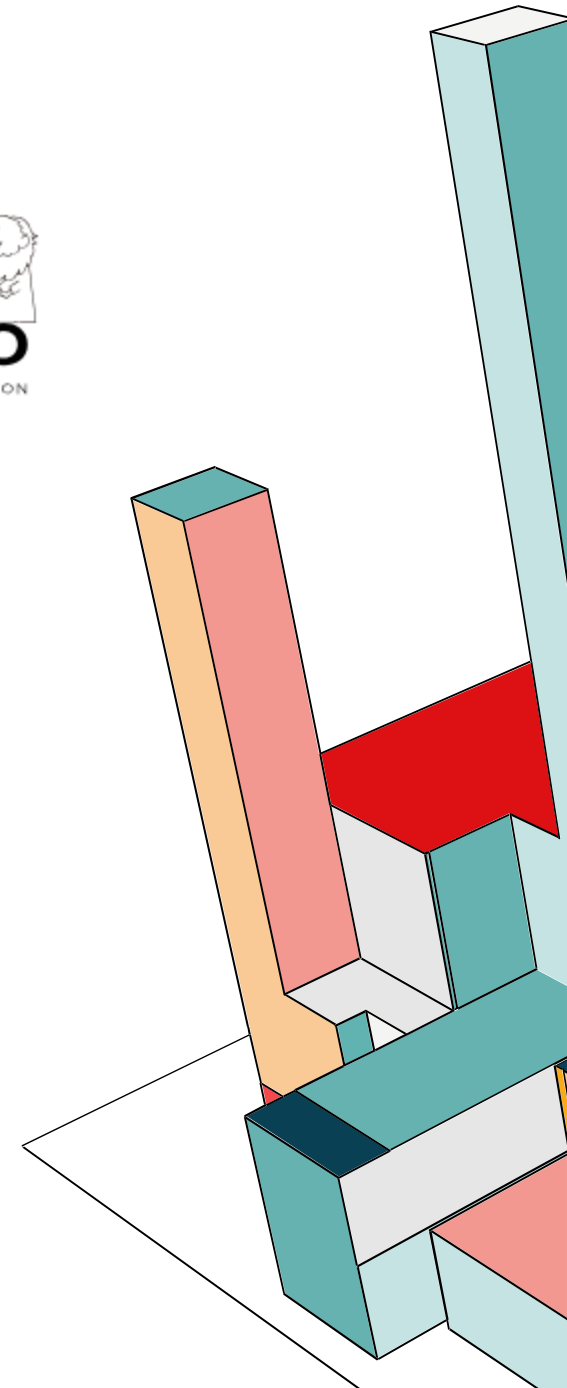
Q. どうして哲学カフェに参加されていますか.

A. 一番近くで哲学対話をやっている場所だったから  
自分も哲学対話をやっていて勉強しに来た



Q. どうして哲学カフェに参加されてよかったことはどんなことですか？

A. 知らない人だから、深いことを話しても大丈夫  
他の人が言ったことをもとに考えるのが楽しい

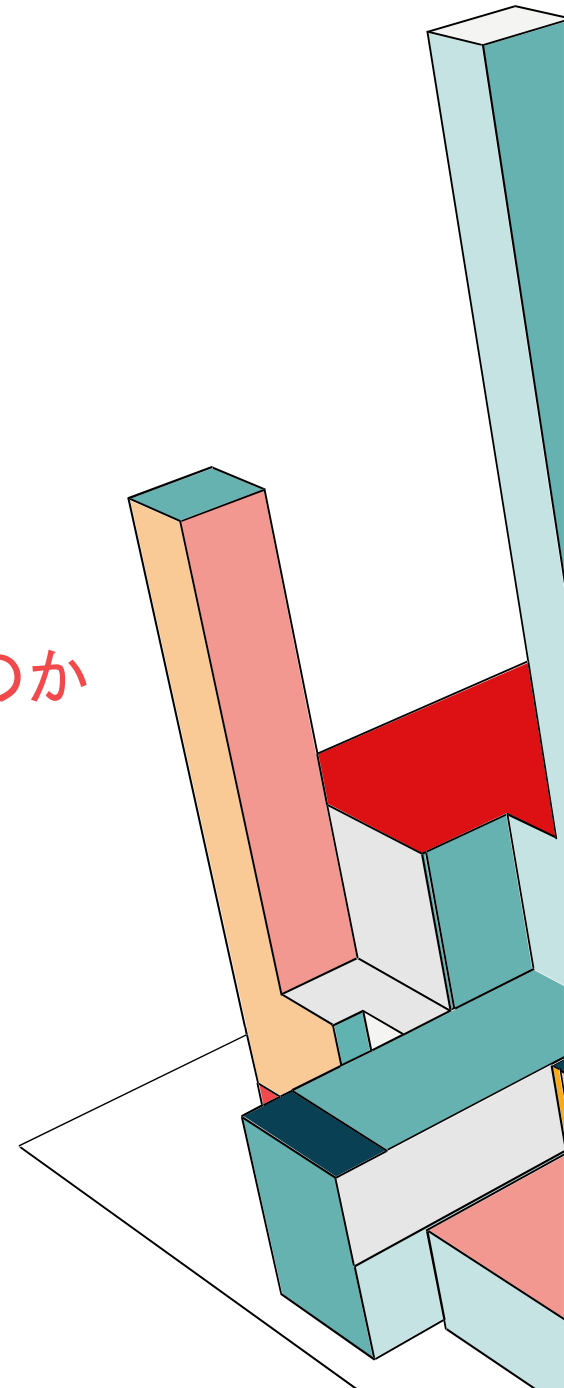


# 实践

# 学んだ内容の実践と結果

## 発表者らは2回の訪問での学びを実践

- 10月15日 テーマ: 夏休みは必要か？
- 10月24日 テーマ: 人に必要とされるとうれしいのはなぜ？
- 10月31日 テーマ: 分かるをどう通り越すか？
- 11月26日 テーマ: 我々のスポーツは動物にはどのように映っているのか
- 12月12日 テーマ: 気まずさ
- 12月19日 テーマ: 脱成長でどう生きるか？
- 1月7日 テーマ: 友情
- 1月22日 テーマ: 見栄をはることの功罪
- 2月6日 テーマ: おせっかいの作法
- 2月20日 テーマ: 世界の見方が変わったこと



# 学びの成果 相互評価

## 永岡の評価 (評価者は長井)

大項目	観点	研修前 8月以前	研修後 10月以降
場	参加者が対等な関係性で参加できるようにしているか	4	4
	落ち着いて話ができる環境を整えているか	4	4
テーマ	できるだけシンプルで根本的なテーマを設定しているか (あるいは参加者全員がテーマを理解できるようにしているか)	2	4
	テーマが問いの形をとるようにしているか	5	3
進行について	知識の伝達にならないような進行ができていますか?	2	4
	発言したそうな人を見つけ、問いや質問を投げかけられているか?	3	5
	その人でないとしゃべれないことを意識的に引き出しているか	3	4

## 長井の評価 (評価者は永岡)

大項目	観点	研修前 8月以前	研修後 10月以降
場	参加者が対等な関係性で参加できるようにしているか	5	5
	落ち着いて話ができる環境を整えているか	3	3
テーマ	できるだけシンプルで根本的なテーマを設定しているか (あるいは参加者全員がテーマを理解できるようにしているか)	5	5
	テーマが問いの形をとるようにしているか	4	4
進行について	知識の伝達にならないような進行ができていますか?	3	4
	発言したそうな人を見つけ、問いや質問を投げかけられているか?	4	4
	その人でないとしゃべれないことを意識的に引き出しているか	4	3

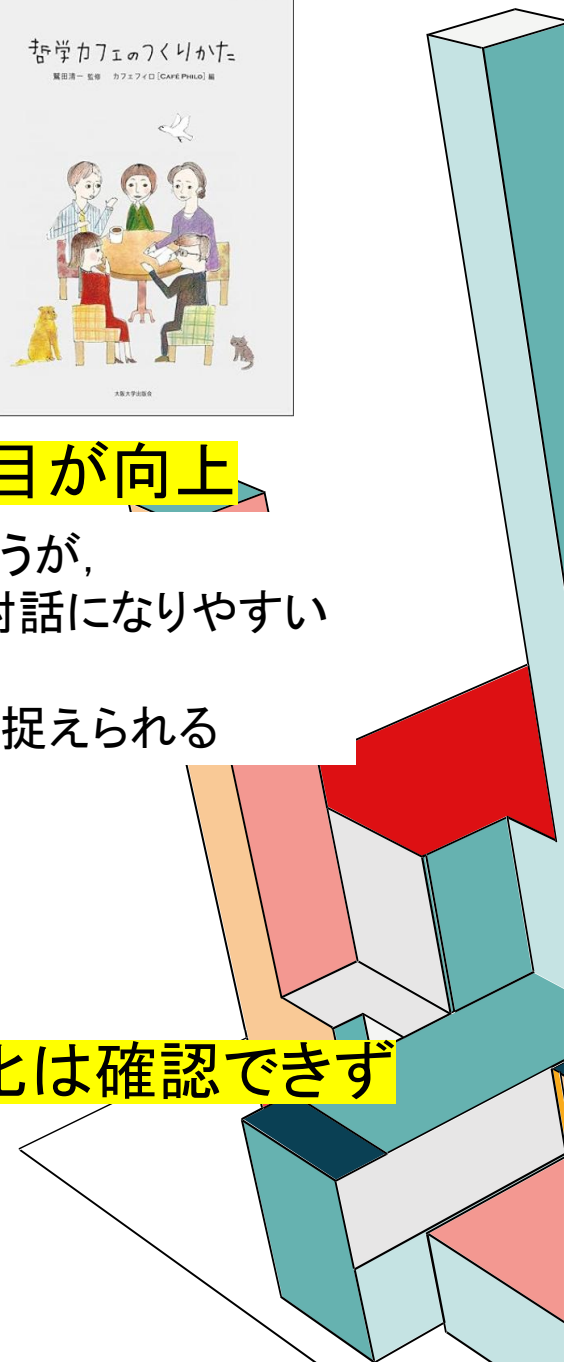


大半の項目が向上

テーマが曖昧なほうが、  
前提を問うような対話になりやすい

ポジティブに捉えられる

大きな変化は確認できず



# 参加者に回答をお願いしたフォームズのコメントの変化

## プロジェクト前 7月・8月のコメント（抜粋）

「非常に面白く、自分自身がなぜ部活動に入っているかを見つめ直せるいい機会になった」

「自分自身の価値観が整理された」

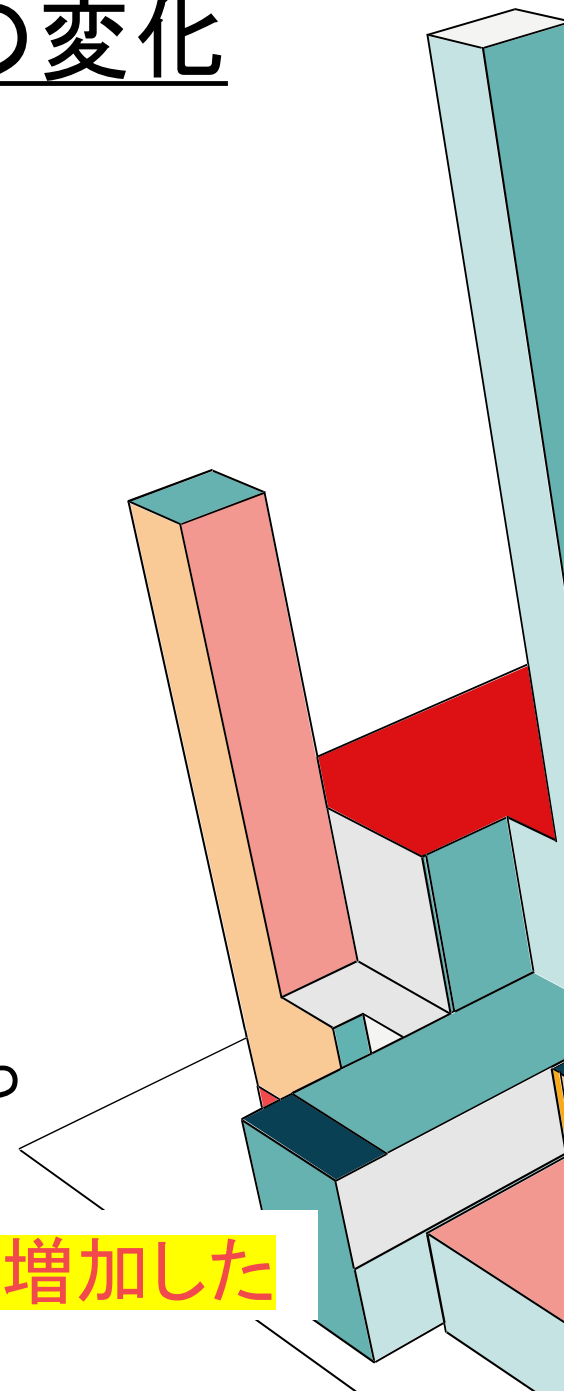


## プロジェクト前 10月以降のコメント（抜粋）

「問いを通して、また次の問いが生まれ、最初の問いからは想像もできない議論に発展していくことが哲学の面白いところだと思いました」

「何気ないテーマについてしっかりと建設的な話し合いが出来て楽しかった。」

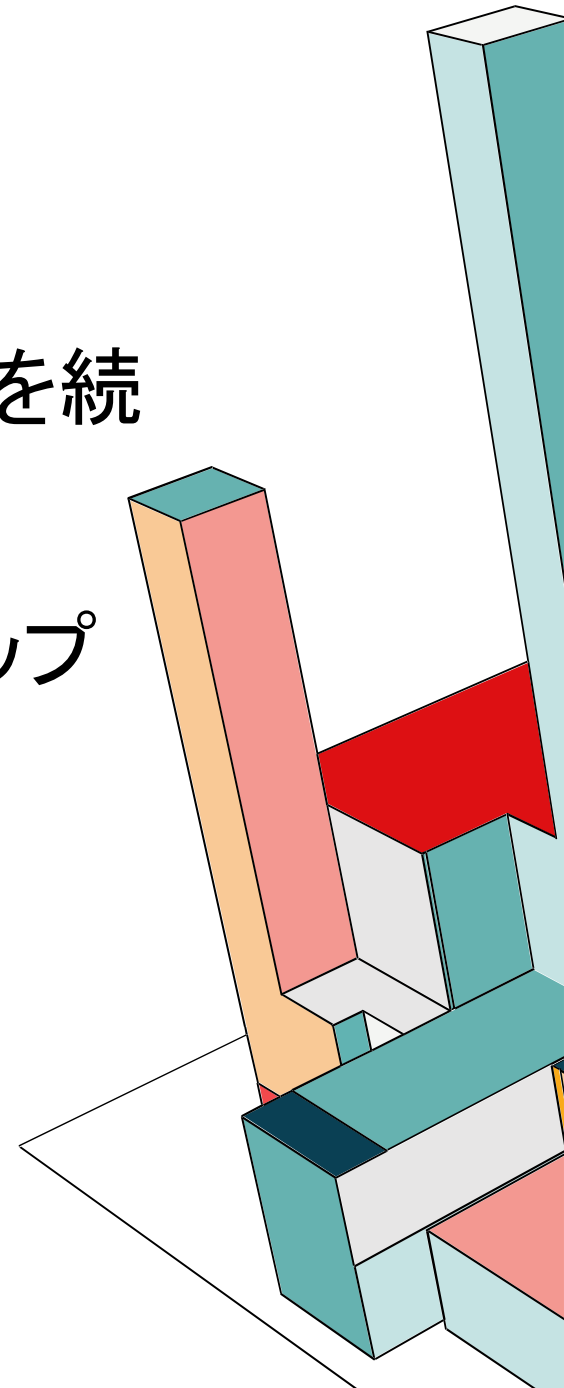
**自身の変化のみならず、対話の場を評価してくれるコメントが増加した**



今後

# 今後にむけて

- 本プロジェクトでの学びを生かして、学内での実践を続けること.
- 他の哲学カフェへ積極的に参加し、活動内容をアップデートし続けること.
- いつでも参加できる場として、継続すること.



# プロジェクト費用

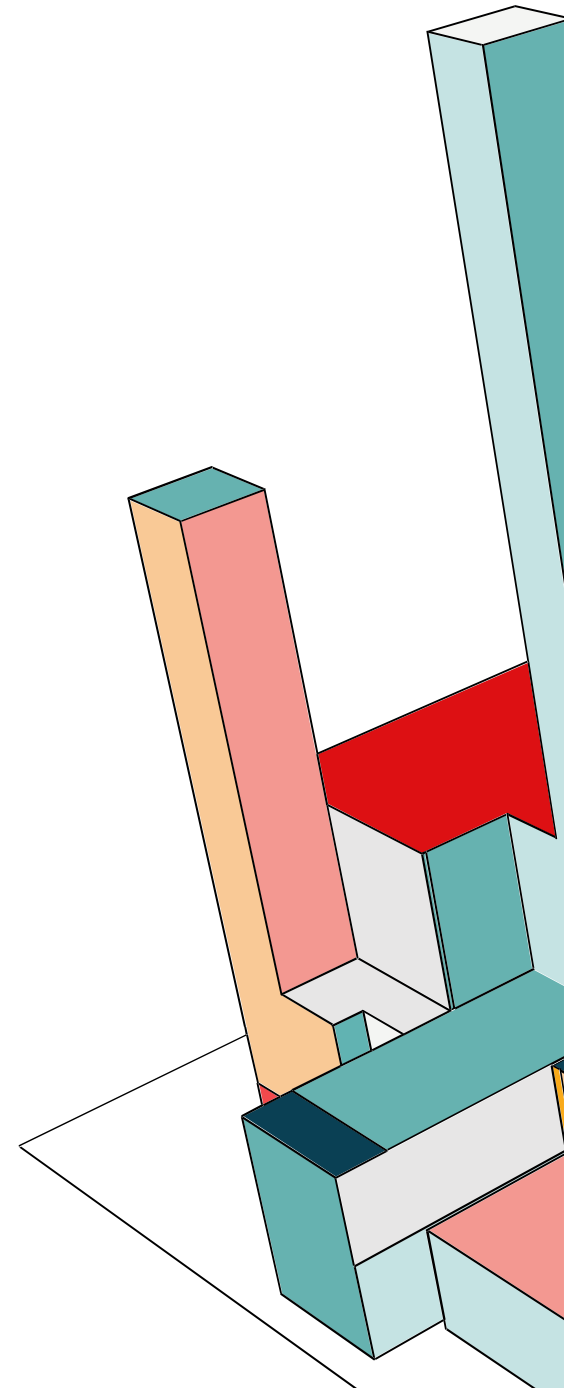
## 7月31日 びわこ哲学カフェ 参加時

航空券(往復) ……25650円

## 11月16日 カフェフィロ20周年の集い 参加時

航空券(往復) ……50958円

宿泊費 ……39291円



# 最後に

ご支援いただきありがとうございました  
今後もしよろしくお願ひします

